

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002 - 125981

(P2002 - 125981A)

(43)公開日 平成14年5月8日(2002.5.8)

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テ-マ-コ-ト* (参 考)

A 6 1 B 18/12

A 6 1 B 17/39

320

4 C 0 6 0

審査請求 未請求 請求項の数 4書面 (全 4 数)

(21)出願番号 特願2000 - 360311(P2000 - 360311)

(22)出願日 平成12年10月20日(2000.10.20)

(71)出願人 598066857

山本 博徳

栃木県河内郡南河内町祇園2丁目15番13号

(72)発明者 山本 博徳

栃木県河内郡南河内町祇園2丁目15番13号

F タ-ム (参 考) 4C060 KK04 KK09 KK13 KK20

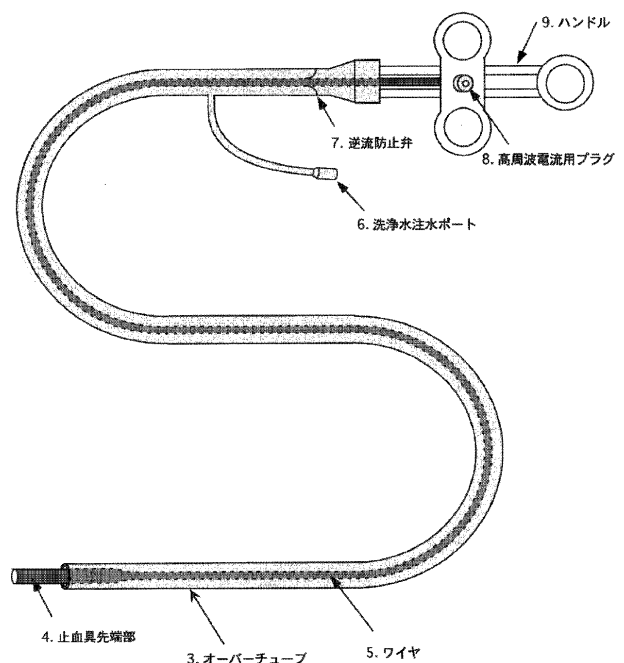
(54)【発明の名称】 止血具

(57)【要約】

【課題】止血処置を有効且つ簡便に行える処置具の開発。

【解決手段】出血時の血液中や洗浄液中への漏電を絶縁処置によって防止し、水没した状態でも有効に出血点の組織の凝固変性による止血を行えるようにした。液体中でも処置が可能であることを生かし、処置中の洗浄用の注水機構を設けた。

図面代用写真 (カラー)



【特許請求の範囲】

【請求項 1】高周波電流装置に接続し、組織に高周波電流を流し、凝固変性させて止血を行う単局型の止血具で先端のみの金属面を露出し、その他の部位に絶縁処置を施しているもの。

【請求項 2】請求項 1 を使用中、同時に出血部を洗浄できるようにした注水機構。

【請求項 3】請求項 1、2 を兼ね備えた止血具。

【請求項 4】請求項 3 が内視鏡鉗子口を通過できるようにした内視鏡処置用止血具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、医療技術としての止血処置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の高周波電流を用いた組織の凝固変性による止血法には電気メスによる凝固止血、二局型の止血端子、ホットバイオブシー鉗子、ポリペクトミー用スネア、アルゴンプラズマコアグレーターなどがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】出血しだすとその周囲が血液で覆われてしまい、出血点の同定が困難となる。また、出血点を同定し、そこに止血具を当てて高周波電流を流しても、止血具が血液に埋もれてしまい、血液中に漏電し、組織に有効な凝固変性を与えることが困難になってしまう。また、単局型の処置具を使用中に起こった出血の場合、二局型の止血端子は付け替えが煩雑で、止血に時間がかかり、端子自体も高価であるという問題点がある。アルゴンプラズマコアグレーターでの止血の場合も出血点が血液で埋もれてしまうと組織の有効な凝固変性が困難となる。

【0004】

【課題を解決するための手段】出血点がたとえ血液や洗浄水で覆われたとしても電流が周囲に漏れず、有効に組織の凝固変性が行えるよう、先端の組織接触面のみを金属露出させ、他の部位をすべて絶縁処置した。また、止血点の確認が容易に行えるよう洗浄用の注水機構を設けた。一般に高周波電流を用いた処置の際は処置具が血液や洗浄液中に埋もれるような状況では漏電のため使用できず、血液を洗い流した上で洗浄液を吸引し、空気中で

*を行えるようにした画期的な発明である。

【0005】

【発明の実施の形態】出血部位を洗浄し、出血点を確認したら本発明の止血具の先端を出血点に当てる。この際洗浄液、血液の吸引は不要で、必要ならば持続的に洗浄を続けながら水中で通電を行い、出血点の組織の凝固変性による止血を行う。

【0006】

【実施例】内視鏡的粘膜切除術など内視鏡的処置に伴う出血時の止血において最も有効と思われるが、その他、潰瘍出血、異常血管からの出血など一般の消化管出血の際の止血にも有効である。また、内視鏡的止血に限定せず、医療技術としての止血法一般に適応可能である。

【0007】

【発明の効果】この発明により、これまでの方法では止血が困難であったような消化管出血においても出血点の明瞭な確認を行いながら迅速且つ容易に止血を行えることが出来ると考えられる。止血処置が容易になることにより、内視鏡的粘膜切除術などの内視鏡的治療も安全且つ迅速に行えるようになり、適応の幅が広がる可能性がある。またこれまでは止血困難であったために輸血や手術が必要となったような症例でも確実な内視鏡的止血が行えることで、そのような処置を免れることが出来る可能性が考えられる。内視鏡以外の分野でも止血処置は時間を争う重要な処置であり、迅速且つ容易な止血法の開発がもたらす恩恵は大きい。本発明の止血具は構造が簡単であり、安価に製造が可能と考えられ経済的価値も大きいと考えられる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】止血具の先端部の拡大図。

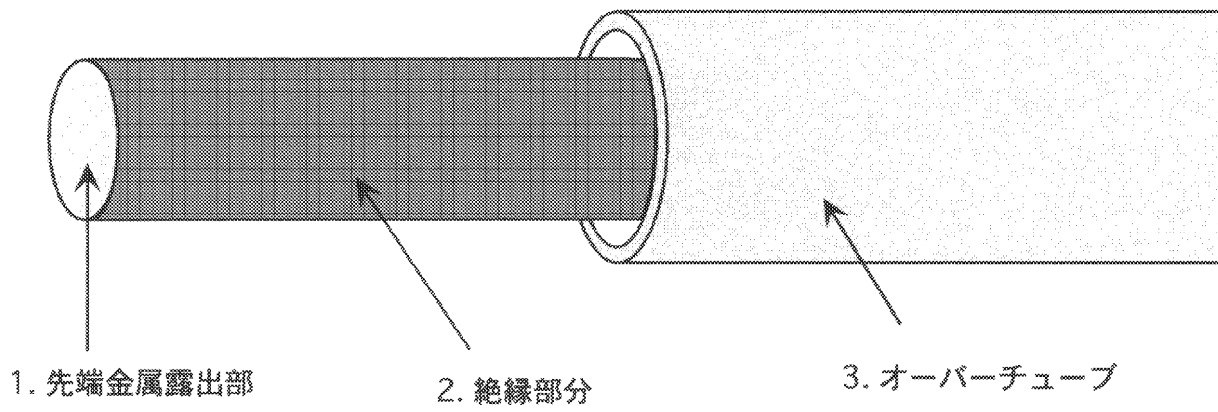
【図 2】止血具の全体像。

【符号の説明】

- 1．先端金属露出部
- 2．絶縁部分
- 3．オーバーチューブ
- 4．止血具先端部
- 5．ワイヤ
- 6．洗浄水注水ポート
- 7．逆流防止弁
- 8．高周波電流用プラグ
- 9．ハンドル

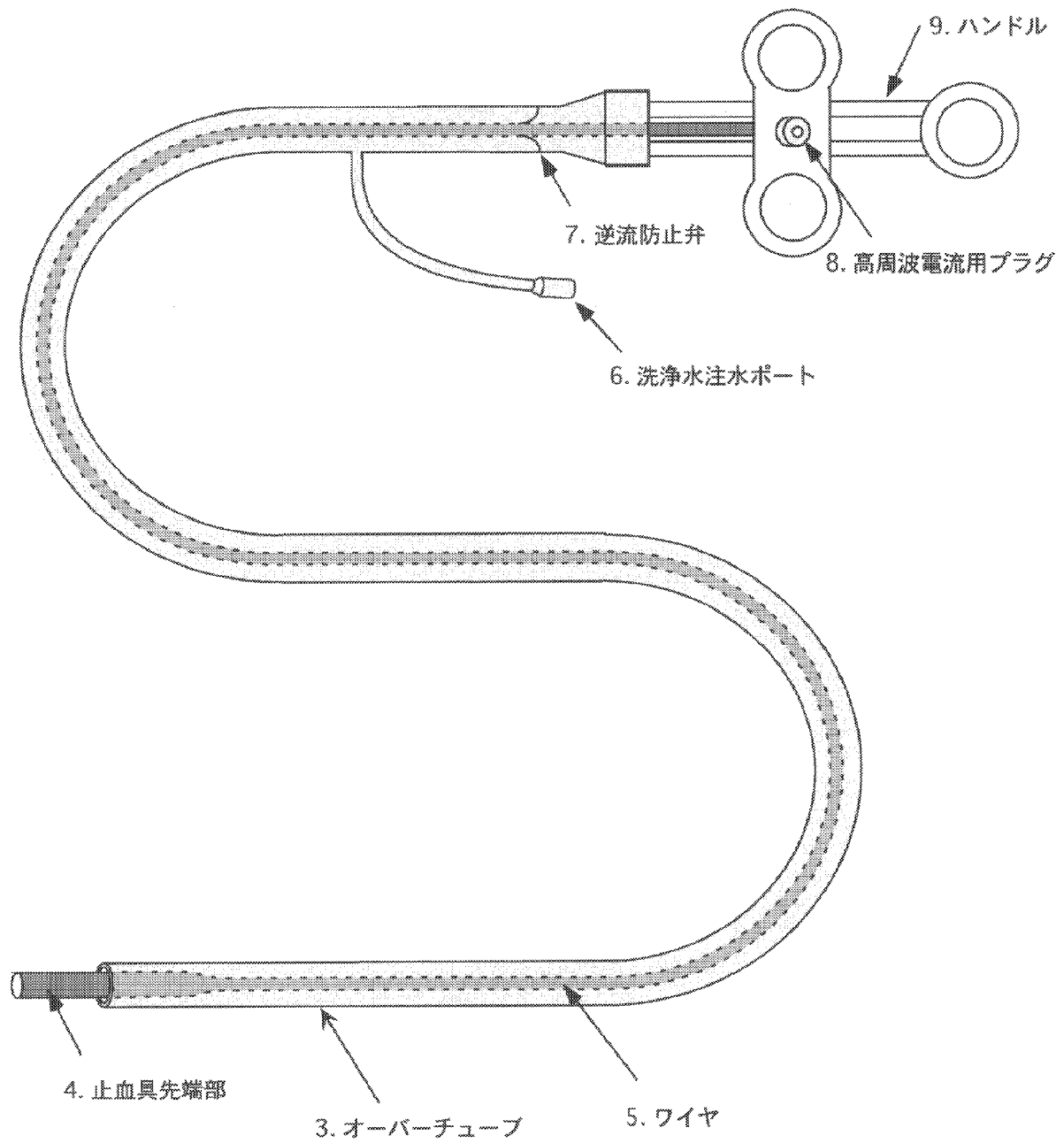
【図1】

図面代用写真（カラー）



【図2】

図面代用写真（カラー）



专利名称(译)	止血具		
公开(公告)号	JP2002125981A	公开(公告)日	2002-05-08
申请号	JP2000360311	申请日	2000-10-20
[标]申请(专利权)人(译)	山本 博徳		
申请(专利权)人(译)	山本 博徳		
[标]发明人	山本博徳		
发明人	山本 博徳		
IPC分类号	A61B18/12		
FI分类号	A61B17/39.320 A61B18/12 A61B18/14		
F-TERM分类号	4C060/KK04 4C060/KK09 4C060/KK13 4C060/KK20 4C160/KK04 4C160/KK06 4C160/KK13 4C160/KK36 4C160/KK57 4C160/KL02 4C160/KL03 4C160/MM32 4C160/MM43 4C160/NN09		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

要解决的问题：提供一种医疗器械，可以有效，轻松地进行止血治疗。
 解决方案：该止血仪器设计用于防止在通过绝缘处理出血的情况下漏入血液或清洁液体中，并且即使在淹没状态下也通过凝血畸形有效地提供到出血点处的组织的止血。可以在液体中进行止血处理，由此提供用于处理中的清洁的注水机构。

